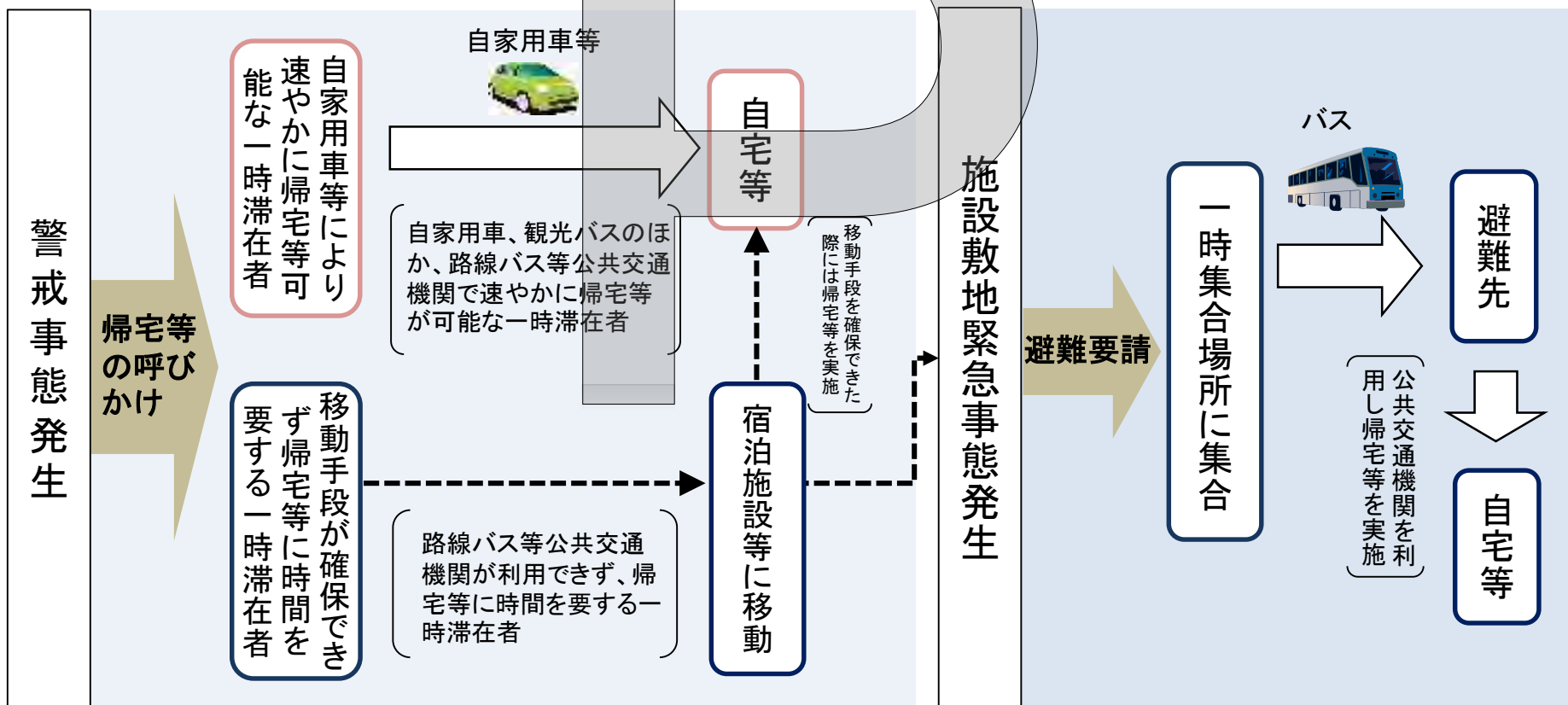


PAZ内の観光客等一時滞在者の避難等

- 関係府県及び関係市町は観光客等一時滞在者に対し、警戒事態において、帰宅等呼びかける。
- 自家用車等により速やかに帰宅等可能な一時滞在者は、警戒事態の段階で、自家用車等にて帰宅等を開始。
- 路線バス等公共交通機関も利用できない観光客など、帰宅等に時間を要する一時滞在者については、宿泊施設等に移動し、施設敷地緊急事態の段階で避難を実施。避難の際には、徒歩等により一時集合場所に集まり、福井県や関係市町が確保した車両により避難を実施。

<観光客等一時滞在者の避難の流れ>



PAZ内の観光客及び民間企業の従業員の数

- PAZ内の観光施設における日間入場見込み人数は約700人程度、民間企業(従業員30人以上)は9社(約480人)存在。※
- ※高浜発電所関連企業を除く

<PAZ内の観光施設の状況>

地区名		施設	入場見込人数(人)
福井県 高浜町	高浜地区	城山公園	500
	内浦地区	五色山公園	100
			計 600人
京都府 舞鶴市	松尾地区	松尾寺	100
			計 100人
[合計]			700人

※1 福井県については入場ピーク時(8月)の入場者数を基に算定

※2 京都府については平成28年の年間実績を基に算定

※3 入場者の9割以上が自家用車を利用

<PAZ内の民間企業(従業員30名以上)の状況>

地区	民間企業	従業員数(人)
高浜地区	飲食料品小売業(2社)	115
	家具・装備品製造業(1社)	69
	医療業(1社)	127
	社会保険・社会福祉・介護事業(1社)	52
合計		363

地区	民間企業	従業員数(人)
青郷地区	総合工事業(1社)	42
	家具・装備品製造業(2社)	42
	よう業・土石製造業(1社)	30
合計		114

合計:9社 約480人

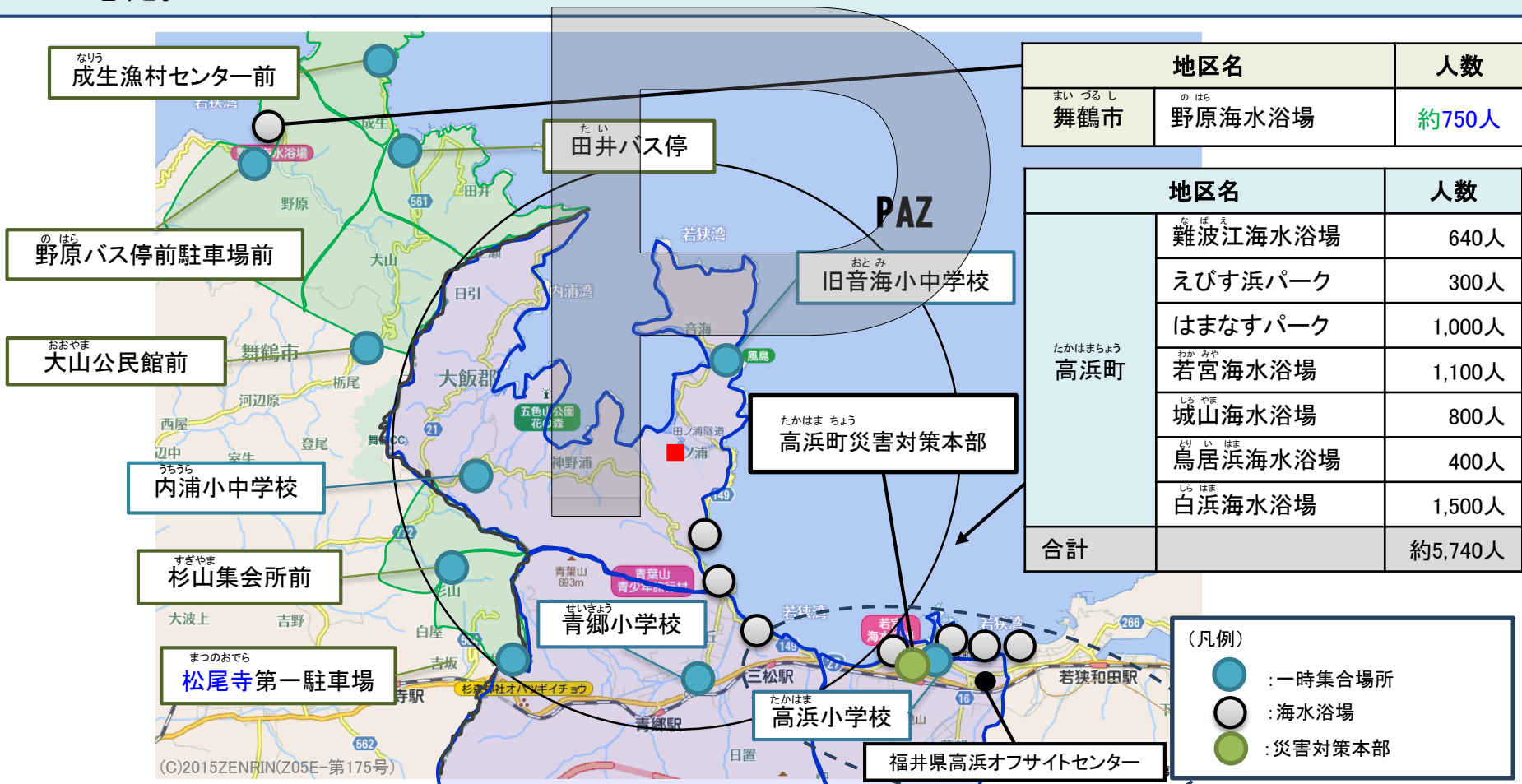
※ 民間企業の従業員については、通勤に使用する自家用車、バスで避難

※ 高浜町内浦地区及び舞鶴市には、発電所関連企業を除き、従業員30人以上の規模の事業所なし

※ 出典:平成26年経済センサス

PAZ内の海水浴場及び入場者の数

- 高浜町ではPAZ内に海水浴場が7か所あり、平成28年度シーズンの1日当りの最大入込客数は約5,740人。
- 高浜町の海水浴客の交通手段は、対象となる海水浴場周辺の駐車場利用率によると全体の約9割が自家用車利用で、残りの1割が貸切バス及び公共交通機関を利用。(平成28年度観光客入込調査 高浜町)
- 舞鶴市ではPAZに準じた避難を行う地域に海水浴場が1か所あり、1日当りの想定最大入込客数を約750人と想定。



- 高浜町において施設敷地緊急事態で必要となる輸送能力は、想定対象人数約3,210人（うち支援者数639人を含む）について、バス64台、福祉車両48台（ストレッチャー仕様8台、車椅子仕様40台）。

	想定対象人数	必要車両台数※1			備考
		バス※2	福祉車両※3 (ストレッチャー仕様)	福祉車両※3 (車椅子仕様)	
学校・保育所の児童等の避難	児童等961人 +職員146人 (=1,107人)	25台 (児童等961人 +職員146人)	0台	0台	保護者への引き渡しによりその分必要車両台数は減少【資料P27】
医療機関・社会福祉施設の入所者の避難	入所者数106人 +職員数59人 (=165人)	3台 (入所者70人 +職員23人)	0台 (入所者0人 +職員0人)	18台 (入所者36人 +職員36人)	放射線防護対策が講じられた若狭高浜病院及び若狭高浜病院付属介護老人保健施設(149人(入所者92人+職員57人))については、自施設内の放射線防護区域に移動し、入所者等の避難に必要な体制が整うまで屋内退避を実施。【資料P28】
医療機関・社会福祉施設の入所者のうち、無理に避難すると健康リスクが高まる者及びその支援者の避難※4	入所者数14人 +職員数12人 (=26人)	0台 (入所者0人 +職員0人)	4台 (入所者14人 +職員12人)	0台 (入所者0人 +職員0人)	放射線防護対策が講じられた若狭高浜病院及び若狭高浜病院付属介護老人保健施設(186人(入所者93人+職員93人))については、自施設内の放射線防護区域に移動するため、車両は不要。放射線防護対策が講じられていない施設は、放射線防護施設に輸送。近距離のためピストン輸送(4往復)を想定【資料P28】
在宅の避難行動要支援者の避難	453人 +支援者453人 (=906人)	21台 (要支援者453人 +支援者453人)	0台	0台	支援者の車両での避難によりその分必要車両台数は減少【資料P29】
在宅の避難行動要支援者のうち、無理に避難すると健康リスクが高まる者及びその支援者を放射線防護施設に輸送※4	186人 +支援者186人 (=372人)	0台	4台 (要支援者15人 +支援者15人)	22台 (要支援者171人 +支援者171人)	放射線防護施設に輸送 近距離のためピストン輸送(4往復)を想定【資料P29】
観光施設から避難する一時滞在者	60人 (600人×0.1)	2台	0台	0台	1日あたりの観光客数600人のうち、9割以上が自家用車で訪問している(『平成28年度観光客入込調査高浜町』)ことを踏まえ、その1割を想定対象人数として算入。【資料P32】
海水浴場から避難する一時滞在者	574人 (5,740人×0.1)	13台	0台	0台	1日あたりの海水浴客5,740人のうち、9割以上が自家用車で訪問している(『平成28年度観光客入込調査高浜町』)ことを踏まえ、その1割を想定対象人数として算入。【資料P33】
合計	3,210人	64台	8台	40台	

※1 数字は現段階で高浜町が把握している暫定値

※2 バスは1台あたり45人程度の乗車を想定

※3 福祉車両(ストレッチャー仕様)は1台あたり1人、福祉車両(車椅子仕様)は1台あたり2人の避難行動要支援者を搬送することを想定

※4 「無理に避難すると健康リスクが高まる者」は、輸送の準備が整うまで放射線防護施設内に屋内退避(放射線防護施設から避難する場合には、別途車両の確保が必要)

- 施設敷地緊急事態発生時には、社会福祉施設、在宅の避難行動要支援者、教育機関の避難等のために、福井県嶺南地方のバス会社が保有する車両のほか、高浜町、おおい町、小浜市内の医療機関、社会福祉施設、社会福祉協議会や関西電力が配備する車両により、必要車両台数を確保。

		確保車両台数			備考
		バス	福祉車両 (ストレッチャー仕様)	福祉車両 (車椅子仕様)	
(A) 必要車両台数		64台	8台	40台	
(B) 確保車両台数		計64台	計8台	計40台	
確保先	<small>たか はま ちよう お ばま し</small> ・高浜町、おおい町、小浜市 ・医療機関、社会福祉施設、社会福祉協議会(高浜町、おおい町、小浜市)	2台	5台	24台	保有車両台数 バス13台 福祉車両(ストレッチャー)10台 福祉車両(車椅子)60台
	<small>れいなん</small> バス会社(福井県嶺南地方)	53台	—	—	保有車両台数 バス 187台
	関西電力	9台	3台	16台	保有車両台数 バス10台 福祉車両(ストレッチャー、車椅兼用)21台 福祉車両(車椅子)4台

※ 不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合、実動組織(警察、消防、海保庁、自衛隊)に支援を要請

舞鶴市において施設敷地緊急事態で必要となる輸送能力

舞鶴市において施設敷地緊急事態で必要となる輸送能力は、想定対象人数約127人(うち支援者数10人を含む)について、バス6台、福祉車両8台(ストレッチャー仕様8台)。

	想定対象人数	必要車両台数※1			備考
		バス※2	福祉車両※3 (ストレッチャー仕様)	福祉車両※3 (車椅子仕様)	
学校・保育所の児童等の避難		該当施設なし			
病院・社会福祉施設の入所者の避難		該当施設なし			
在宅の避難行動要支援者の避難※4	30人 + 支援者8人 (=38人)	3台	6台	0台	・支援者の車両での避難によりその分必要車両台数は減少 ・必要に応じて放射線防護施設に輸送【資料P30】
無理に避難すると健康リスクが高まる在宅の避難行動要支援者及びその支援者を放射線防護施設に輸送※5	2人 + 支援者2人 (=4人)	0台	2台	0台	・支援者の車両での避難によりその分必要車両台数は減少【資料P30】
観光施設から避難する一時滞在者	約10人 (100人×0.1)	1台	0台	0台	1日当たりの観光客数100人のうち、9割以上が自家用車で訪問している(『平成28年度観光客入込調査舞鶴市』)ことを踏まえ、その1割を想定対象人数として算入。【資料P32】
海水浴場から避難する一時滞在者	約75人 (750人×0.1)	2台	0台	0台	1日当たりの海水浴客750人のうち、9割以上が自家用車で訪問している(『平成28年度観光客入込調査舞鶴市』)ことを踏まえ、その1割を想定対象人数として算入。【資料P33】
合計	127人	6台	8台	0台	

※1 数字は現段階で舞鶴市が把握している暫定値

※2 バスは1台当たり45人程度の乗車を想定

※3 福祉車両(ストレッチャー仕様)は1台あたり1人、福祉車両(車椅子仕様)は1台あたり2人の避難行動要支援者を搬送することを想定

※4 バスについては、PAZ(松尾・杉山地区)に1台、PAZに準じた避難を行う地域(大山地区、田井地区、成生地区、野原地区)に2台の配車を想定

※5 無理に避難すると健康リスクが高まる者については、近隣の放射線防護施設で屋内退避

- 施設敷地緊急事態発生時には、在宅の避難行動要支援者の避難のために、舞鶴市が保有する車両のほか、まいづるし市内のバス会社等が保有する車両、まいづるし市内のタクシー事業者が保有する車両により、必要車両台数を確保。

		確保車両台数			備考
		バス	福祉車両 (ストレッチャー仕様)	福祉車両 (車椅子仕様)	
(A) 必要車両台数		6台	8台	0台	
(B) 確保車両台数		計6台	計8台	計0台	
確保先	まいづるし 舞鶴市	3台	1台	0台	保有車両台数 バス3台 福祉車両(ストレッチャー、車椅子兼用)6台 福祉車両(車椅子)3台
	まいづるし 舞鶴市内のバス会社、 社会福祉施設	2台	1台	0台	バス会社等の保有車両台数 バス79台(乗合含む) タクシー95台 社会福祉施設の保有車両台数 福祉車両(ストレッチャー)42台 福祉車両(車椅子)59台
	関西電力	1台	6台	0台	保有車両台数 バス10台 福祉車両(ストレッチャー、車椅子兼用)21台 福祉車両(車椅子)4台

※ 不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合、実動組織(警察、消防、海保庁、自衛隊)に支援を要請